第57回日本腎臓学会学術総会
委員会企画1「腎臓病総合レジストリー」＋「腎病理診断標準化委員会」
2014.7.4 横浜

腎臓病総合レジストリー（J-RBR/J-KDR）2013年次報告と経過報告

杉山 斉[1), 佐藤 博[2), 上田善彦[3), 横山 仁[4)

1)岡山大学 慢性腎臓病対策腎不全治療学
2)東北大学 臨床薬学分野
3)獨協医科大学越谷病院 病理部
4)金沢医科大学 腎臓内科学

腎臓病総合レジストリー（J−RBR／J−KDR）2013年次報告と経過報告

- 2007–2013 J-RBR/J-KDR累積患者数、新規登録患者数推移
- 2013 J-RBR/J-KDR登録例の概要
- 2014 上半期の登録状況
- 2007–2013 J-RBR一次予後調査の予備調査中間報告
- 腎臓病総合レジストリーに関するデータ管理および 利用規定、細則、遵守事項
- 二次研究、公募研究
- 関連委員会、参加施設

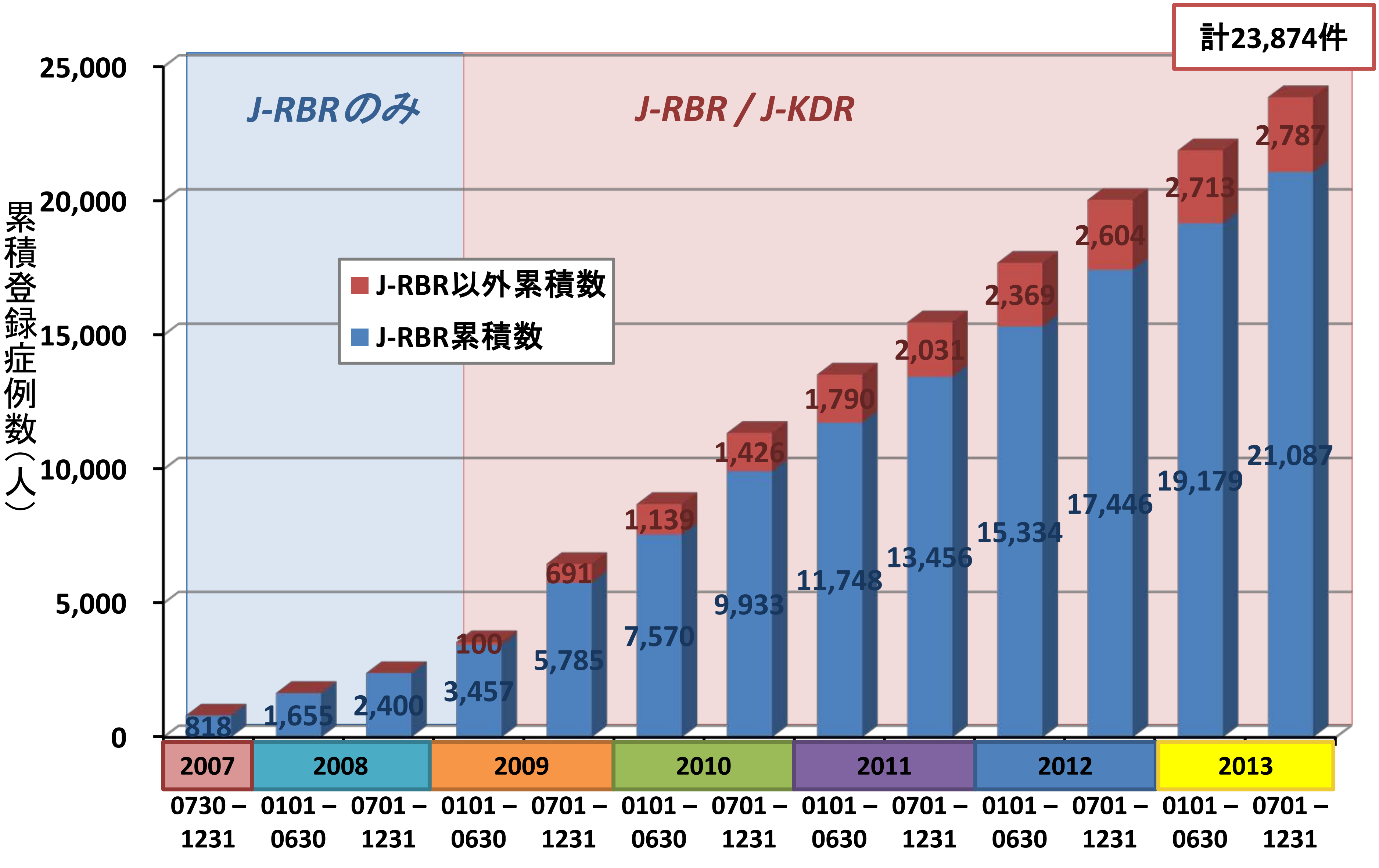
腎臓病総合レジストリー

- J-RBR　Japan Renal Biopsy Registry 2007～
  腎生検レジストリー

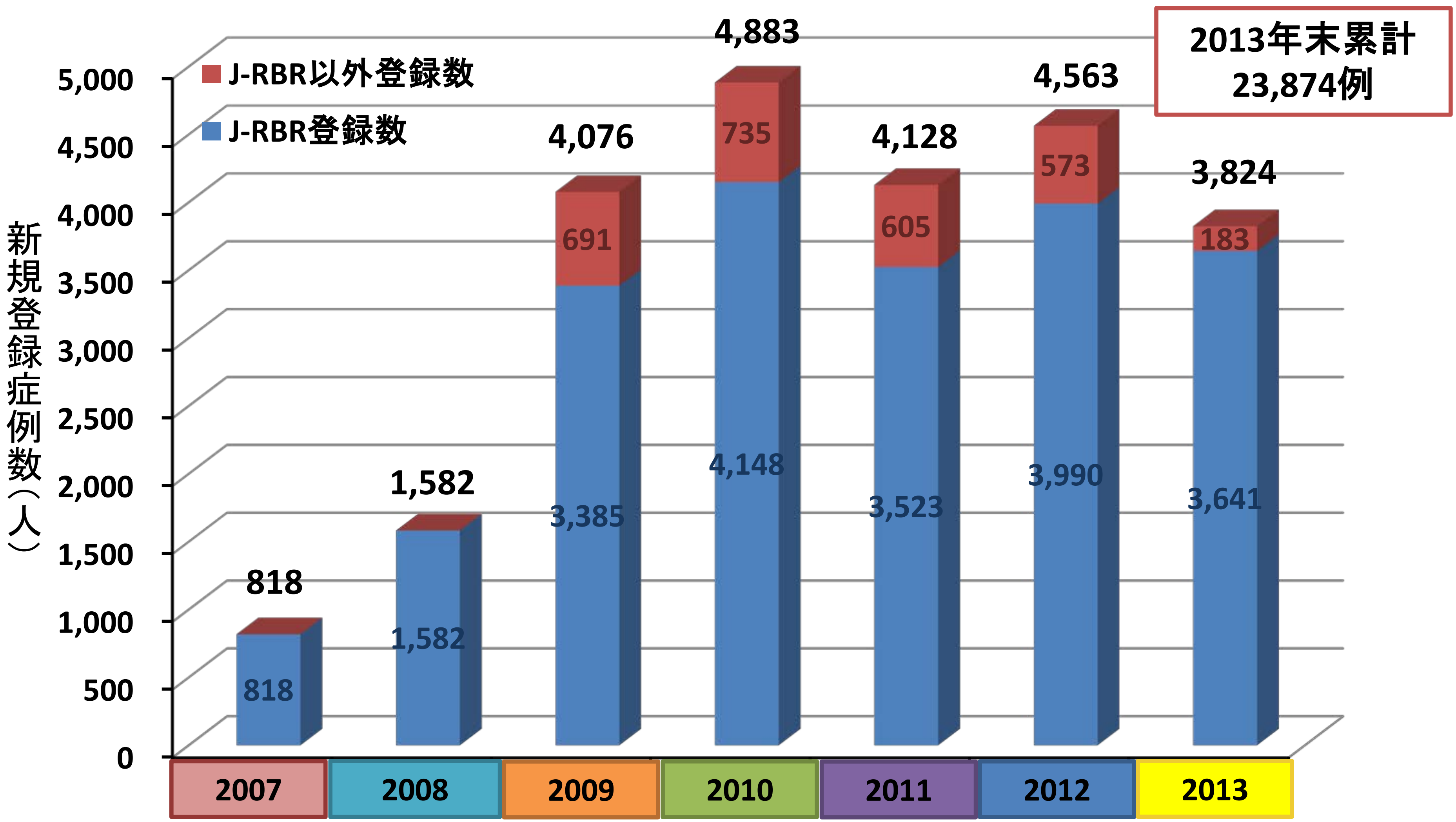
- J-KDR　Japan Kidney Disease Registry 2009～
  腎臓病総合レジストリー（非腎生検例含む）
  二次研究（前向きコホート研究）
    JNSCS, J-IDCS, J-IGACS
    J-RPGNCS, J-DNCS, J-PKD

2013 J-RBR/J-KDR

2007–2013 J-RBR/J-KDR累積患者数推移



2007–2013 J-RBR/J-KDR新規登録患者数推移



2013 J-RBR/J-KDR Study Population

(2013.1.1-2013.12.31登録)

度数分布

	男	女	計
total	2,110	1,708	3,818
J-RBR	2,000	1,635	3,635
J-RBR以外	110	73	183

年齢分布

	男	女	計
total	48.2 ± 22.5	45.1 ± 22.0	46.8 ± 22.3
J-RBR	48.8 ± 21.8	45.2 ± 21.7	47.2 ± 21.9
J-RBR以外	37.0 ± 29.9	41.3 ± 27.4	38.7 ± 28.9

「臨床診断」が空欄のデータは今回はありませんでした
「腎生検日」が2006年以前(レジストリ開始前)のもの6件は集計より除外しました
→計3,818件を集計対象としました（J-RBR3,635件、それ以外183件）
「臨床診断」に複数の項目がある場合はリストの上位を選択しました

2013 J-RBR/J-KDR

登録項目

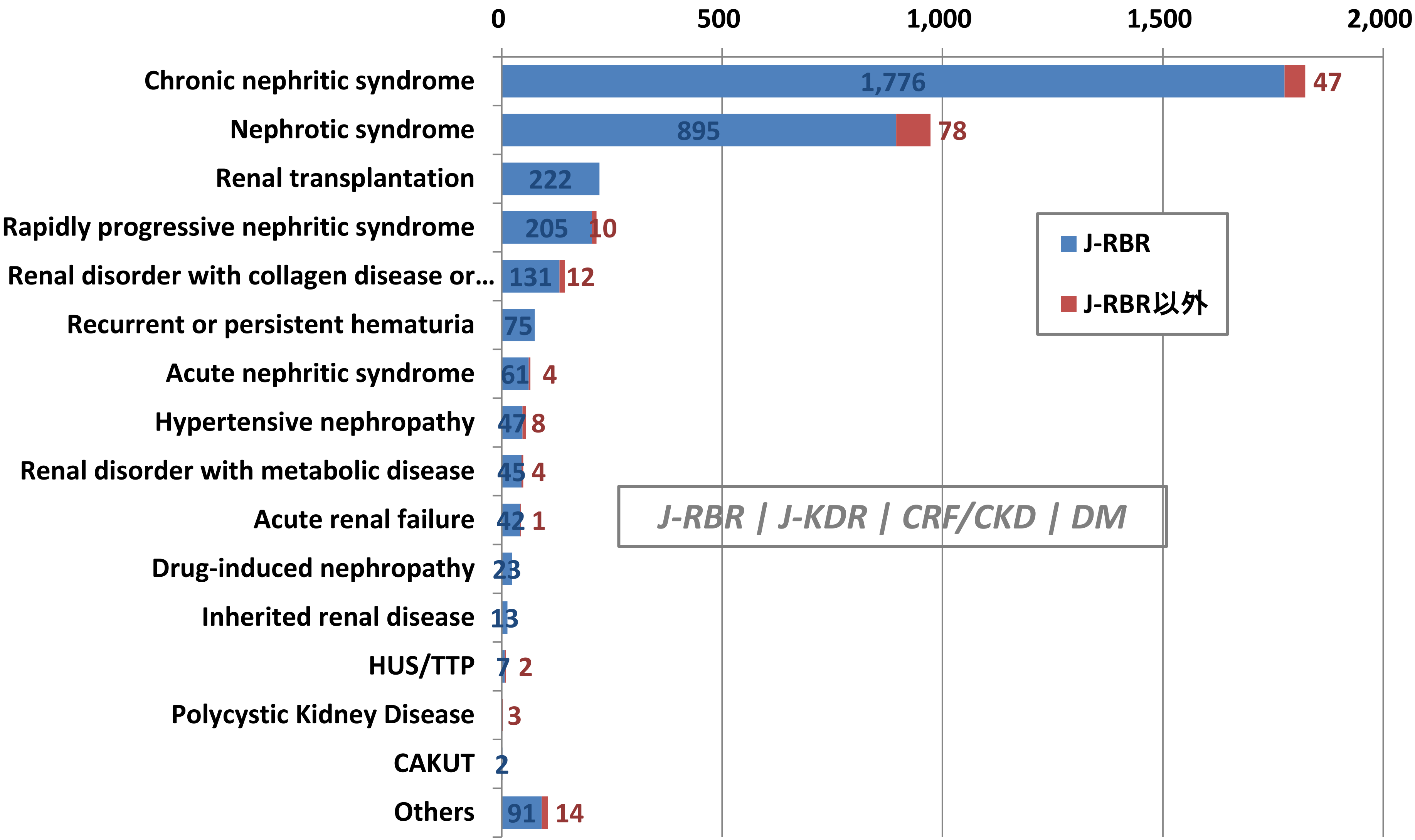
J-RBR

臨床診断 ※上下各段より1項目選択可	病理組織診断1（病因分類）	病理組織診断2（病型分類）
急性腎炎症候群	原発性糸球体疾患（IgA腎症を除く）	微小糸球体変化
急速進行性腎炎症候群	IgA腎症	巣状分節性糸球体硬化症
反復性または持続性血尿	紫斑病性腎症	膜性腎症
慢性腎炎症候群	ループス腎炎	メサンギウム増殖性糸球体腎炎
ネフローゼ症候群	MPO-ANCA陽性腎炎	管内増殖性糸球体腎炎
代謝性疾患に伴う腎障害	PR3-ANCA陽性腎炎	膜性増殖性糸球体腎炎（I型、III型）
膠原病・血管炎に伴う腎障害	抗GBM抗体型腎炎	Dense Deposit Disease
高血圧に伴う腎障害	高血圧性腎硬化症	半月体形成性壊死性糸球体腎炎
遺伝性腎疾患	血栓性微小血管症	硬化性糸球体腎炎
急性腎不全	糖尿病性腎症	腎硬化症
薬剤性腎障害	アミロイド腎症	急性間質性腎疾患
腎移植	アルポート症候群	慢性間質性腎疾患
先天性腎尿路異常(CAKUT)	菲薄基底膜病	急性尿細管壊死
多発性嚢胞腎(PKD)	感染症関連腎症	移植腎
HUS/TTP	移植腎	その他（備考入力）
その他（備考入力）	その他（備考入力）	

2013 J-RBR/J-KDR

Clinical Diagnosis

J-RBR | J-KDR | CRF/CKD | DM

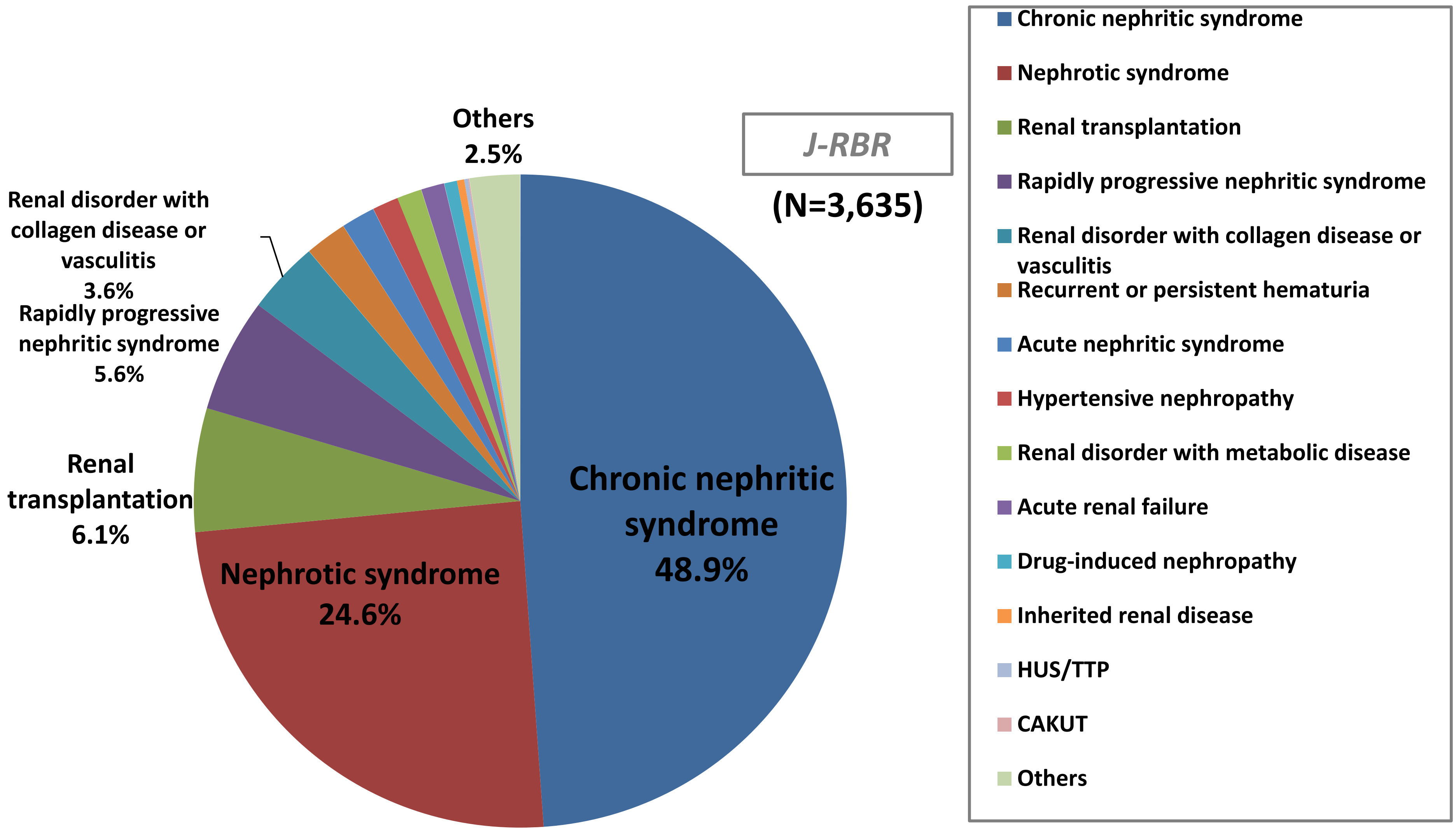


(N = 3,635 <J-RBR> / 183 <J-RBR以外>)

2013 J-RBR/J-KDR

Clinical Diagnosis

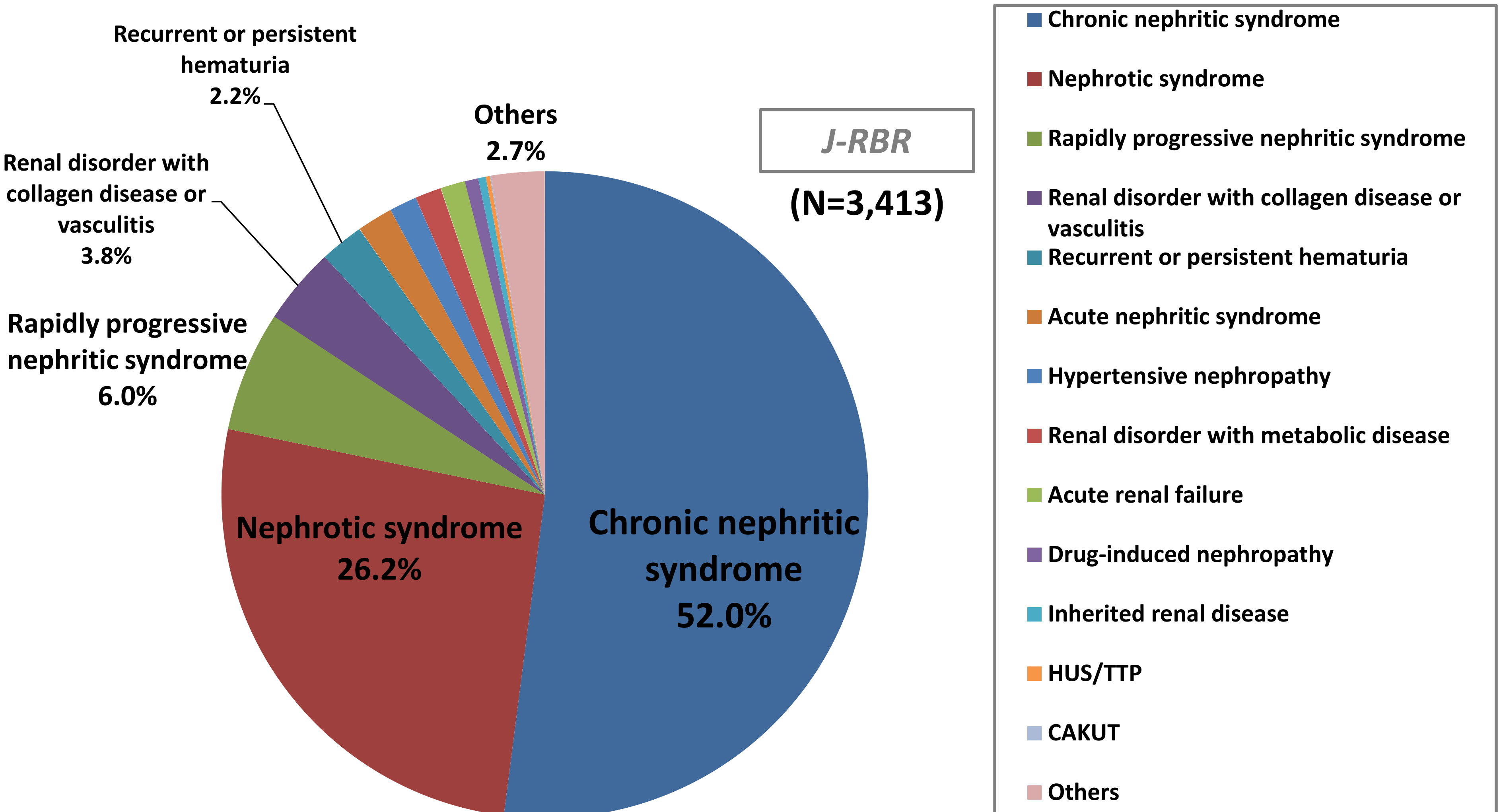
J-RBR



2013 J-RBR/J-KDR

Clinical Diagnosis

J-RBR, except kidney transplantation



登録項目

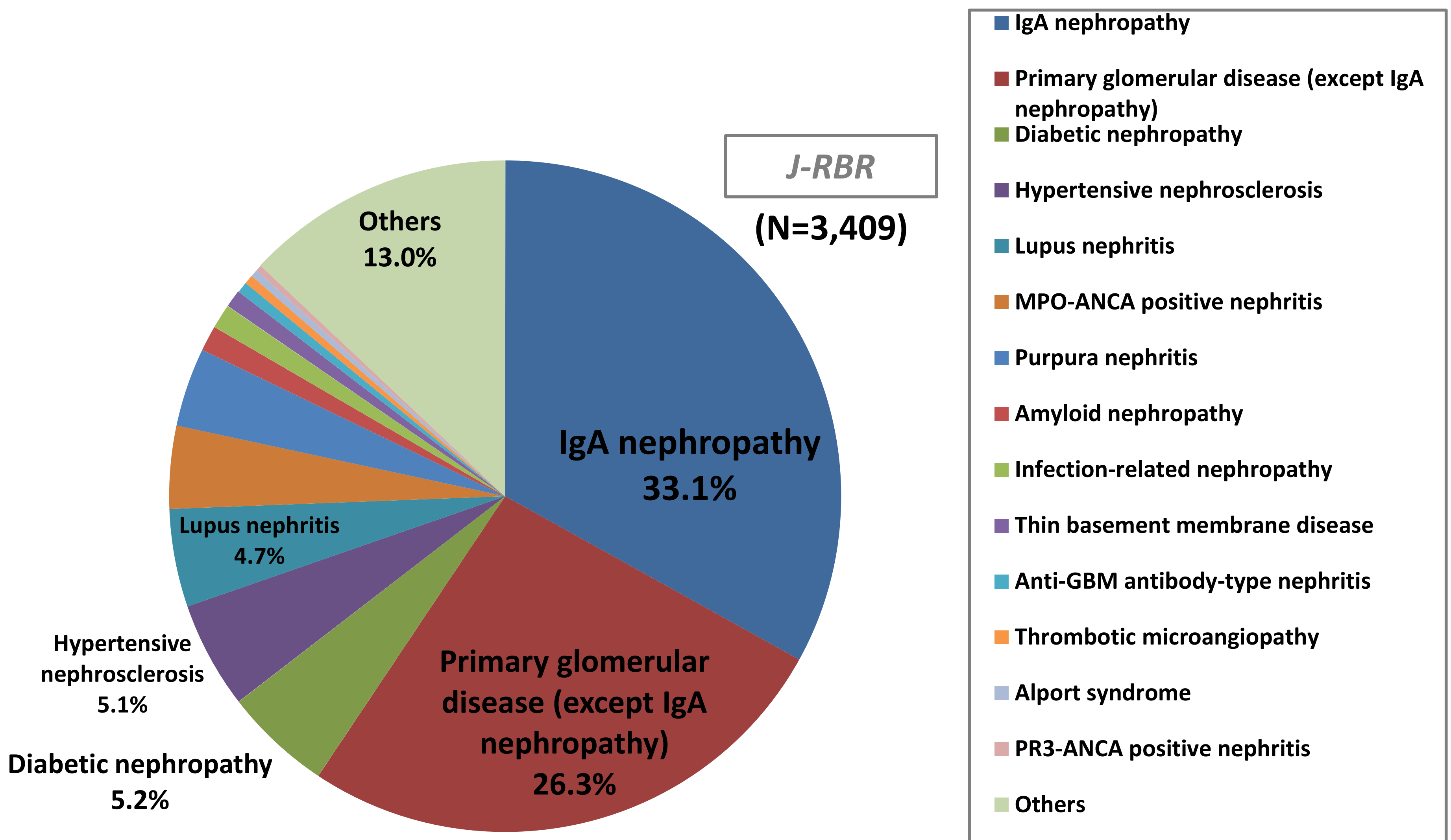
J-RBR

臨床診断 ※上下各段より1項目選択可	病理組織診断1（病因分類）	病理組織診断2（病型分類）
急性腎炎症候群	原発性糸球体疾患（IgA腎症を除く）	微小糸球体変化
急速進行性腎炎症候群	IgA腎症	巣状分節性糸球体硬化症
反復性または持続性血尿	紫斑病性腎症	膜性腎症
慢性腎炎症候群	ループス腎炎	メサンギウム増殖性糸球体腎炎
ネフローゼ症候群	MPO-ANCA陽性腎炎	管内増殖性糸球体腎炎
代謝性疾患に伴う腎障害	PR3-ANCA陽性腎炎	膜性増殖性糸球体腎炎（I型、III型）
膠原病・血管炎に伴う腎障害	抗GBM抗体型腎炎	Dense Deposit Disease
高血圧に伴う腎障害	高血圧性腎硬化症	半月体形成性壊死性糸球体腎炎
遺伝性腎疾患	血栓性微小血管症	硬化性糸球体腎炎
急性腎不全	糖尿病性腎症	腎硬化症
薬剤性腎障害	アミロイド腎症	急性間質性腎疾患
腎移植	アルポート症候群	慢性間質性腎疾患
先天性腎尿路異常(CAKUT)	菲薄基底膜病	急性尿細管壊死
多発性嚢胞腎(PKD)	感染症関連腎症	移植腎
HUS/TTP	移植腎	その他（備考入力）
その他（備考入力）	その他（備考入力）	

2013 J-RBR/J-KDR

Pathological diagnosis 1

J-RBR, Classified by pathogenesis; except transplanted kidney

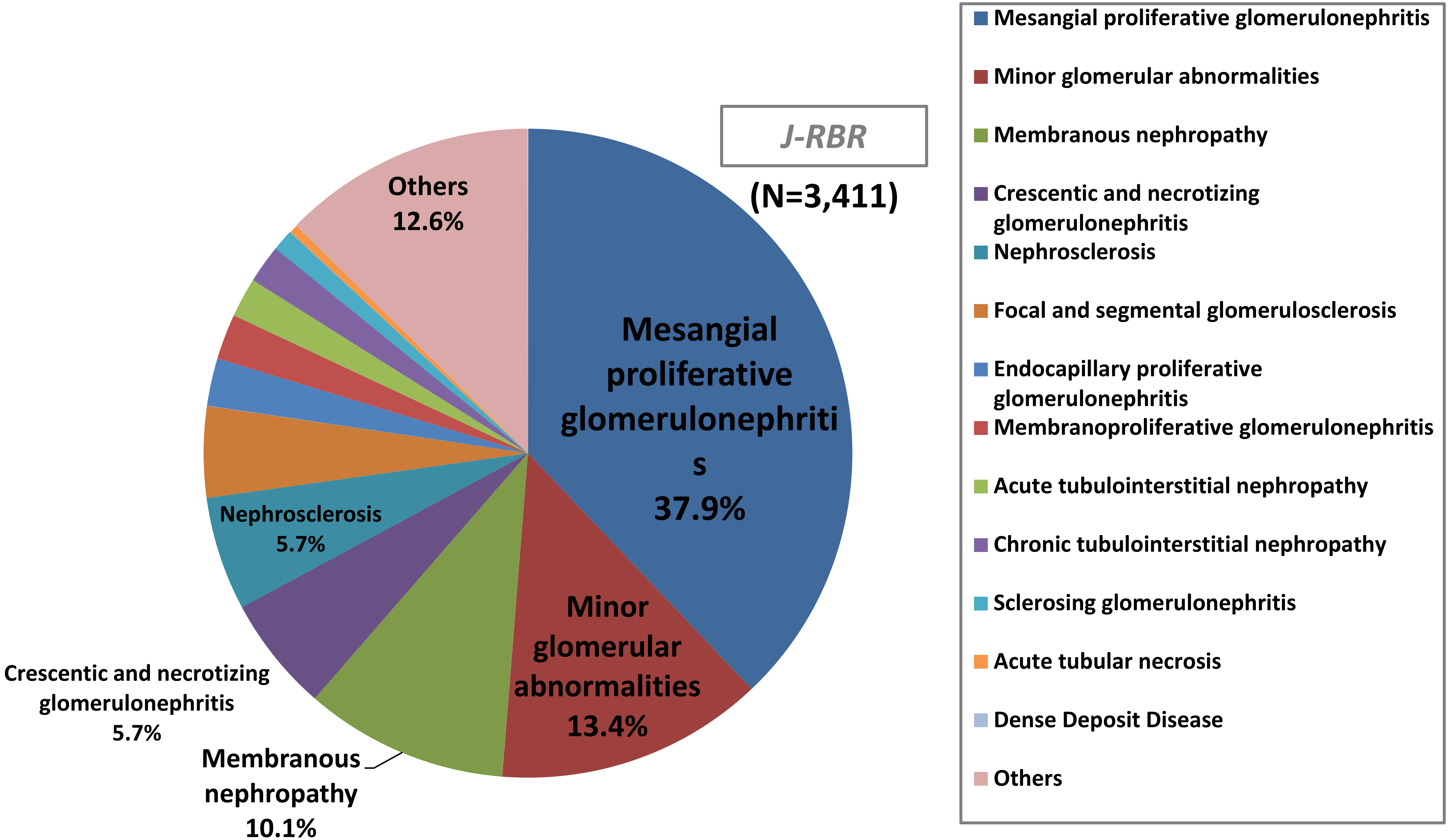


登録項目
J-RBR

臨床診断 ※上下各段より1項目選択可	病理組織診断1（病因分類）	病理組織診断2（病型分類）
急性腎炎症候群	原発性糸球体疾患（IgA腎症を除く）	微小糸球体変化
急速進行性腎炎症候群	IgA腎症	巣状分節性糸球体硬化症
反復性または持続性血尿	紫斑病性腎症	膜性腎症
慢性腎炎症候群	ループス腎炎	メサンギウム増殖性糸球体腎炎
ネフローゼ症候群	MPO-ANCA陽性腎炎	管内増殖性糸球体腎炎
代謝性疾患に伴う腎障害	PR3-ANCA陽性腎炎	膜性増殖性糸球体腎炎（I型、III型）
膠原病・血管炎に伴う腎障害	抗GBM抗体型腎炎	Dense Deposit Disease
高血圧に伴う腎障害	高血圧性腎硬化症	半月体形成性壊死性糸球体腎炎
遺伝性腎疾患	血栓性微小血管症	硬化性糸球体腎炎
急性腎不全	糖尿病性腎症	腎硬化症
薬剤性腎障害	アミロイド腎症	急性間質性腎疾患
腎移植	アルポート症候群	慢性間質性腎疾患
先天性腎尿路異常(CAKUT)	菲薄基底膜病	急性尿細管壊死
多発性嚢胞腎(PKD)	感染症関連腎症	移植腎
HUS/TTP	移植腎	その他（備考入力）
その他（備考入力）	その他（備考入力）	

Pathological diagnosis 2

J-RBR, Classified by histopathology; except transplanted kidney



2013年 J-RBR/JKDR 概要

- 2007年からの累計で2013年末までに23,874例が登録された。

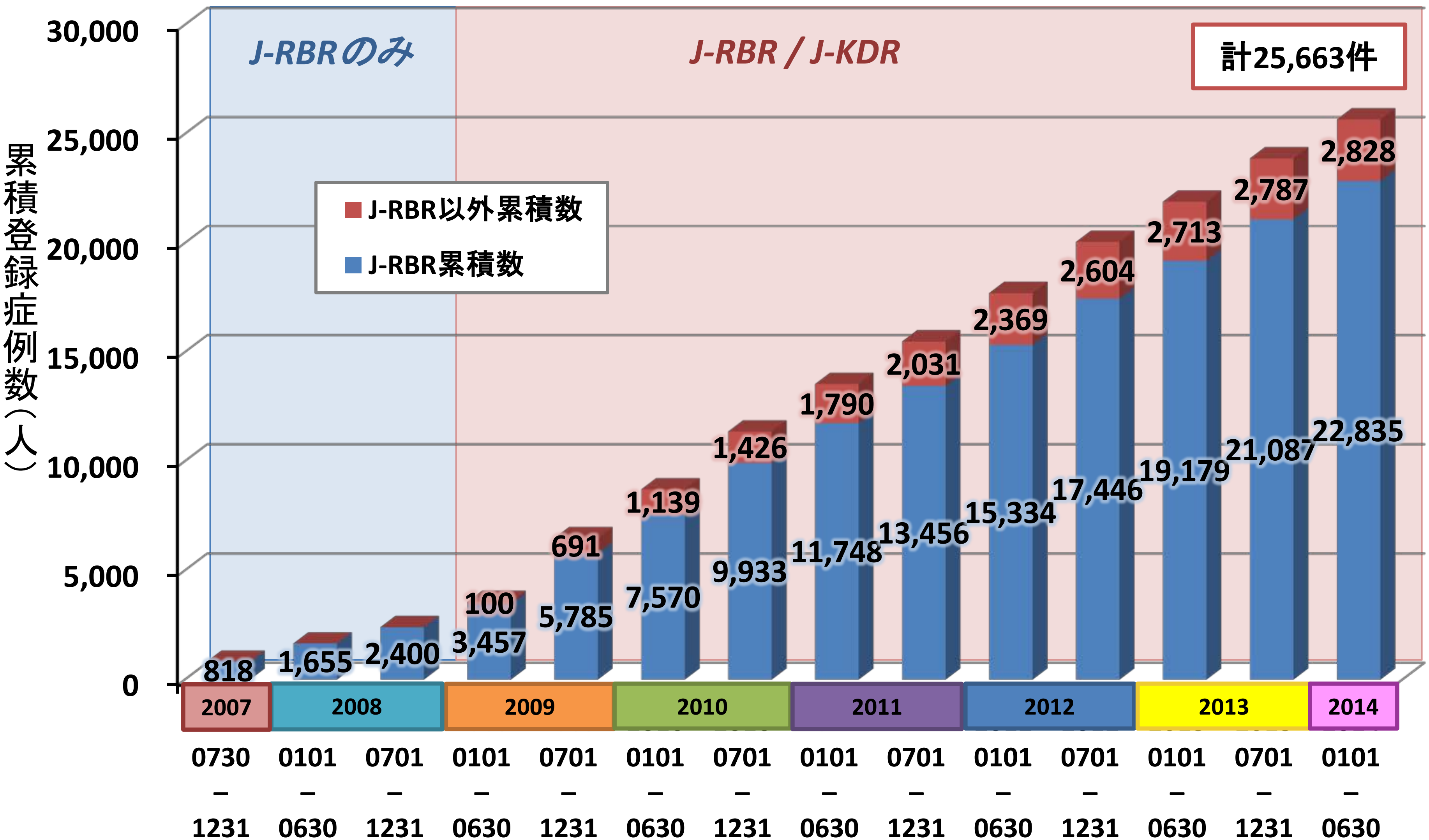
  内訳：J-RBR 21,087例（88.3%）、J-RBR以外2,787例（11.7%）
- 2013年1年間に3,818例が登録された。

  内訳：J-RBR 3,635例（95.2%）、J-RBR以外183例（4.8%）
- 2013年の年間登録数（3,818例）は2012年の年間登録数（4,521例）に比較して703例（15.5%）減少した。（参考：2011年 4,156例）

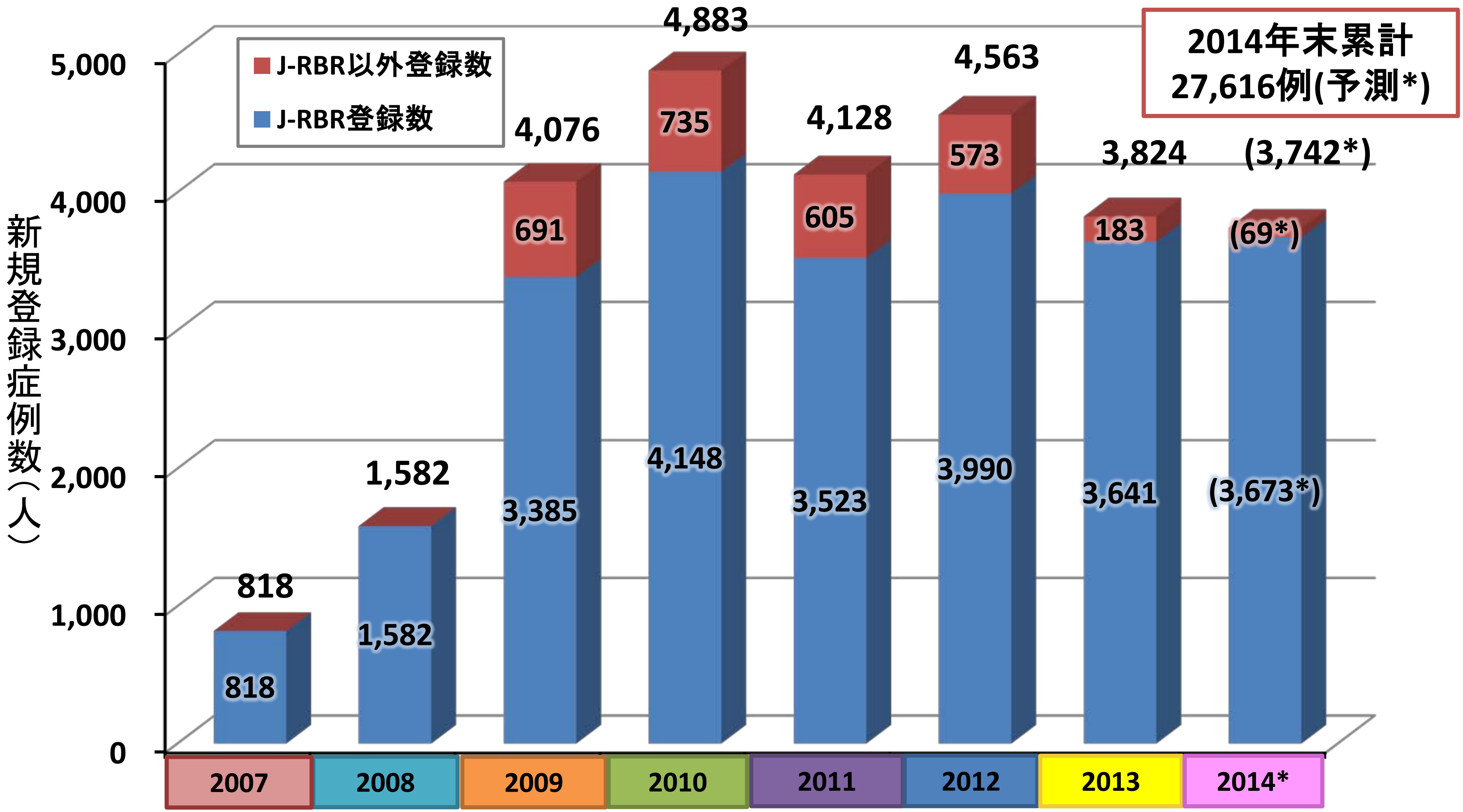
  J-RBR：-8.9%（-355例）、J-RBR以外：-65.5%（-348例）
- 参加施設は137施設で、前年130施設から7施設（5.4%）増加した。
- J-RBR 3,635例について臨床診断、病理組織診断（病因分類、病型分類）の解析を、J-RBR以外183例について臨床診断の解析を行った。

2007–2014 J-RBR/J-KDR累積患者数推移

2014年上半期までの集計



2007–2014 J-RBR/J-KDR新規登録患者数推移



*昨年2013年6月30日時点での登録数と年間登録数から推計しました

日本腎生検レジストリー(J-RBR)登録症例の予後調査研究

社団法人 日本腎臓学会　理事長　 松尾　清一

腎疾患レジストリ‐腎病理診断標準化委員会

横山　仁（委員長）、上田善彦（副委員長）、佐藤　博（副委員長）、北村博司、清水　章、長田道夫、杉山　斉、西　愼一、香美祥二、服部元史、吉川徳茂、清原　裕 （顧問）松尾清一・槇野博史・田口　尚 （オブザーバー）斉藤喬雄・和田隆志・安田宜成・今田恒夫

腎生検データベース構築病理WG

上田善彦（委員長）、北村博司、清水　章、長田道夫、江原孝史、岡　一雅、大橋健一、金鋼友木子、串田吉夫、倉持　茂、小池淳樹、立野正敏、橋口明典、原　重雄、久野　敏、深澤雄一郎、松岡健太郎 （顧問）田口　尚 （オブザーバー）横山　仁

腎疾患データベース地域・領域中核WG

佐藤　博（委員長）、香美祥二、杉山　斉、西　愼一、服部元史、横山　仁、吉川徳茂、猪阪義隆、石村栄治、伊藤孝史、上村　治、内田俊也、河田哲也、川端雅彦、川村哲也、黒木亜紀、佐々木　環、笹富佳江、佐藤寿伸、鶴屋和彦、寺田典生、中川直樹、中屋来哉、成田一衛、幡谷浩史、樋口　誠、廣村桂樹、藤元昭一、古市賢吾、丸山彰一、武曾恵理、両角國男、湯澤由紀夫 （オブザーバー）清元秀泰、江田幸政

第1版：平成25年8月7日作成

平成25年8月12日修正

平成25年9月25日　岡山大学倫理審査委員会　承認番号723

日本腎生検レジストリー(J-RBR)登録症例の予後調査研究 -岡山大学における予備調査-

- 対象: 2007/1/31～2009/4/30腎生検236例
- 期間:2014年5月～6月
- 項目:血清Cr値/Cr2倍化/ESRD有無･転帰日･追跡不可詳細、生存/死亡有無･転帰日･死因
- 診断･疾患別解析:臨床診断（ネフローゼ、急速進行性腎炎症候群）、疾患（IgA腎症、原発性膜性腎症）

ドロップダウンリスト（集計用）

腎生検後5年時のフォロー施設	腎生検後5年時の状況	腎生検時から継続する腎代替療法の有無	E1:Cr2倍化orESRD	E2:総死亡
01:当院	01:通院中	01:有	0:無	0:生存
02:関連施設	02:検診フォロー	02:無	1:Cr2倍化	1:心血管疾患（IHD・CHF等）
03:非関連施設	03:自己中断		2:PD	2:脳血管疾患（脳梗塞・脳出血等）
	04:死亡		3:HD	3:感染症死（肺炎・敗血症等）
	05:腎生検5年後の受診未		4:腎移植(preemptive)	4:悪性腫瘍
	06:転院（転院先が判明している）		9:追跡不可（詳細要記載）	5:腎不全死
	07:転院（転院先が不明）			6:自殺
	08:国外の施設のため追跡不可能			7:その他（詳細要記載）
	09:その他　追跡不可能			9:追跡不可（詳細要記載）

調査表

氏名：　　　　　（カタカナ）　生年月日

①　　　年　　　月　　　　日以降で初めて外来受診した日：______年____月____日

その際の血清 Cr：______mg/dl

②　血清 Cr が　　mg/dl を超えた日(あれば)：______年____月____日

その際の血清 Cr：______mg/dl

（慢性変化を評価したいため、3 ヶ月以上の高値持続、通院間隔が 3 ヶ月以上であれば連続 2 回以上の高値持続）

③　透析導入の有無：______

透析導入していれば透析導入日：______年____月____日

導入直前の血清 Cr：______mg/dl

④　死亡の有無：______、死亡していれば転帰日：______年____月____日、

死因：____

⑤　通院を中断していればその理由（自己中断、検診フォロー、他院転院など）。他院への転院があれば転院した病院名と担当医。

：____

予備調査　概要1

- 対象: 2007/1/31～2009/4/30腎生検236例
- 当院通院：113例（47.9%）
- 他院通院：123例（52.1%）
  - 関連施設(25施設)　　：67例（28.4%）
  - 非関連施設(36施設)：56例（23.7%）

回収率（以下のいずれか）：72.5%

- 血清Cr：58.1%
- 透析導入・腎移植の有無：71.2%
- 生存・死亡の有無：70.3%

予備調査　概要2

Baseline

- 年齢（歳） 45 (30-64)
- 性別 男112例（47.5%）, 女性124例（52.5%）
- 血清Cr(mg/dl) 0.84 (0.65-1.235)

			蛋白尿区分 (g/日 または g/gCr) ＊		
			A1	A2	A3
			0.15未満	0.15-0.50	0.50以上
GFR区分 (ml/min/ 1.72m^2)＊＊	G1	≧90	24	17	26
	G2	60-89	15	18	41
	G3a	45-59	4	6	24
	G3b	30-44	4	8	21
	G4	15-29	2	5	9
	G5	＜15	0	1	11

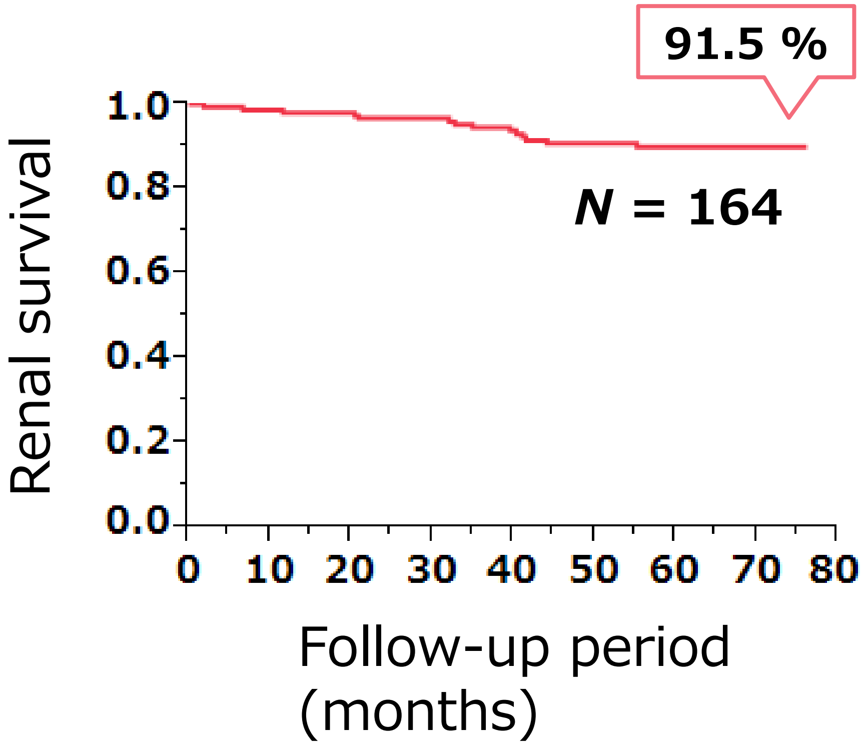
* 原疾患 糖尿病についても蛋白尿で分類. **15歳～17歳の小児　11名はSchwartz のeGFR 換算式を用いた.

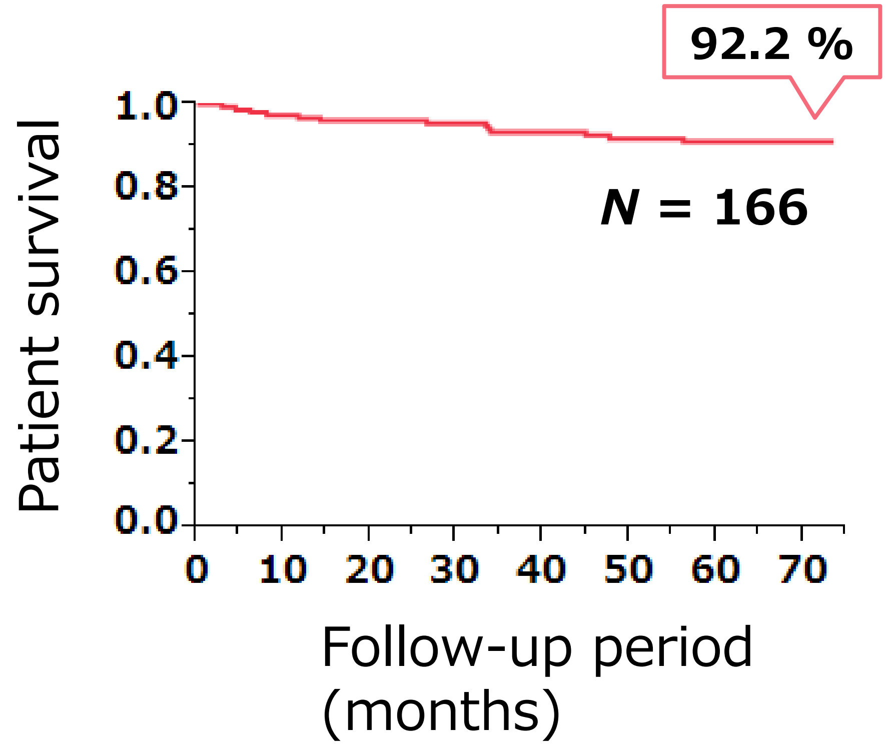
予備調査　概要3

5-year Outcome

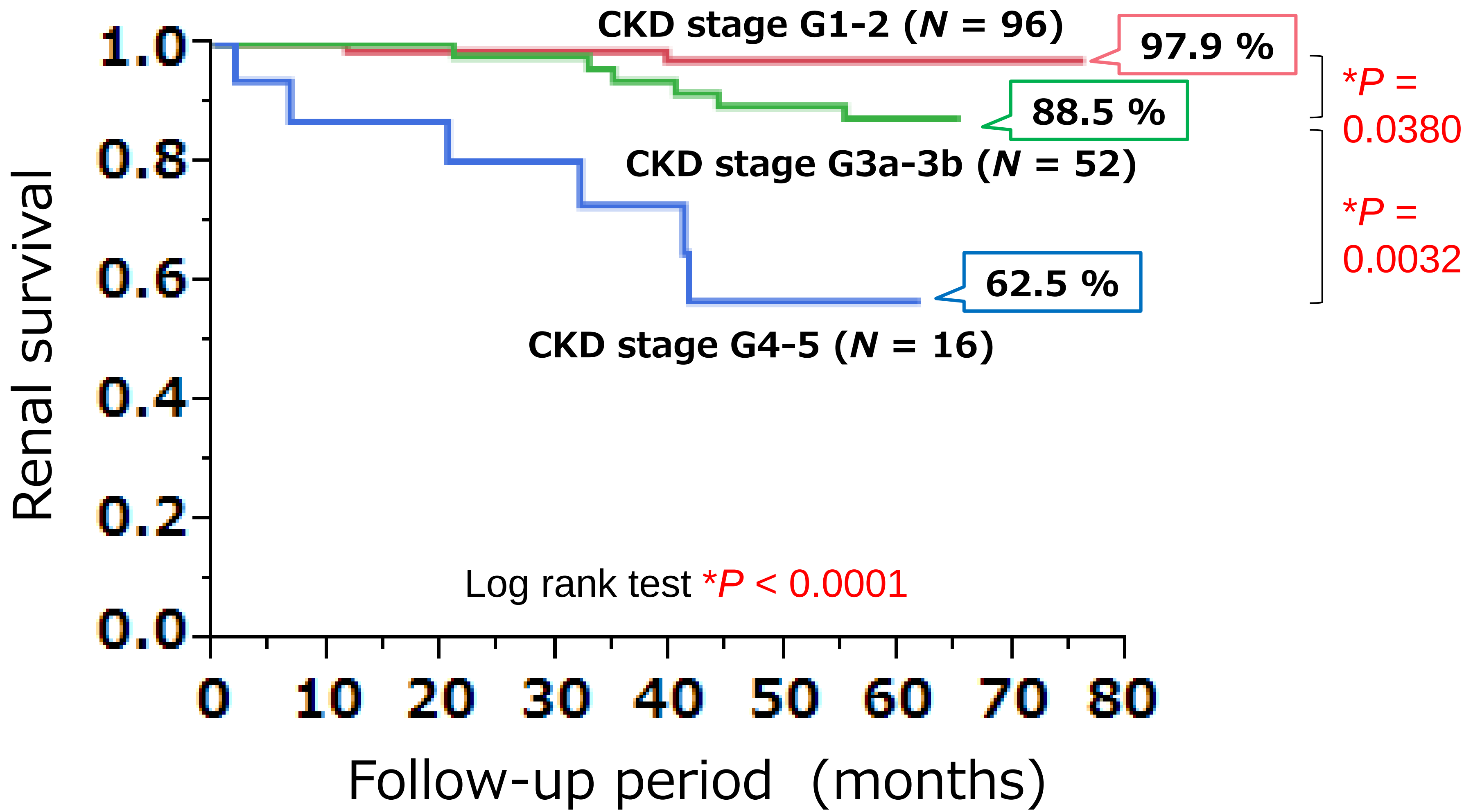
- 観察期間（月）60.6（39.1-61.5）
- 血清Cr（mg/dl）0.96（0.73- 1.53）
- 血清Cr の2倍化 9例（3.8 %）
  血清Cr の1.5倍化 22例（9.3%）
- ESRD：HD 8 例（3.4 %）、PD 1 例（0.4 %）
  腎移植 0 例
- 死亡：13 例（5.5 %）
- 通院中断or追跡不可：31例（13.1 %）

Renal/Patient Survival Analysis

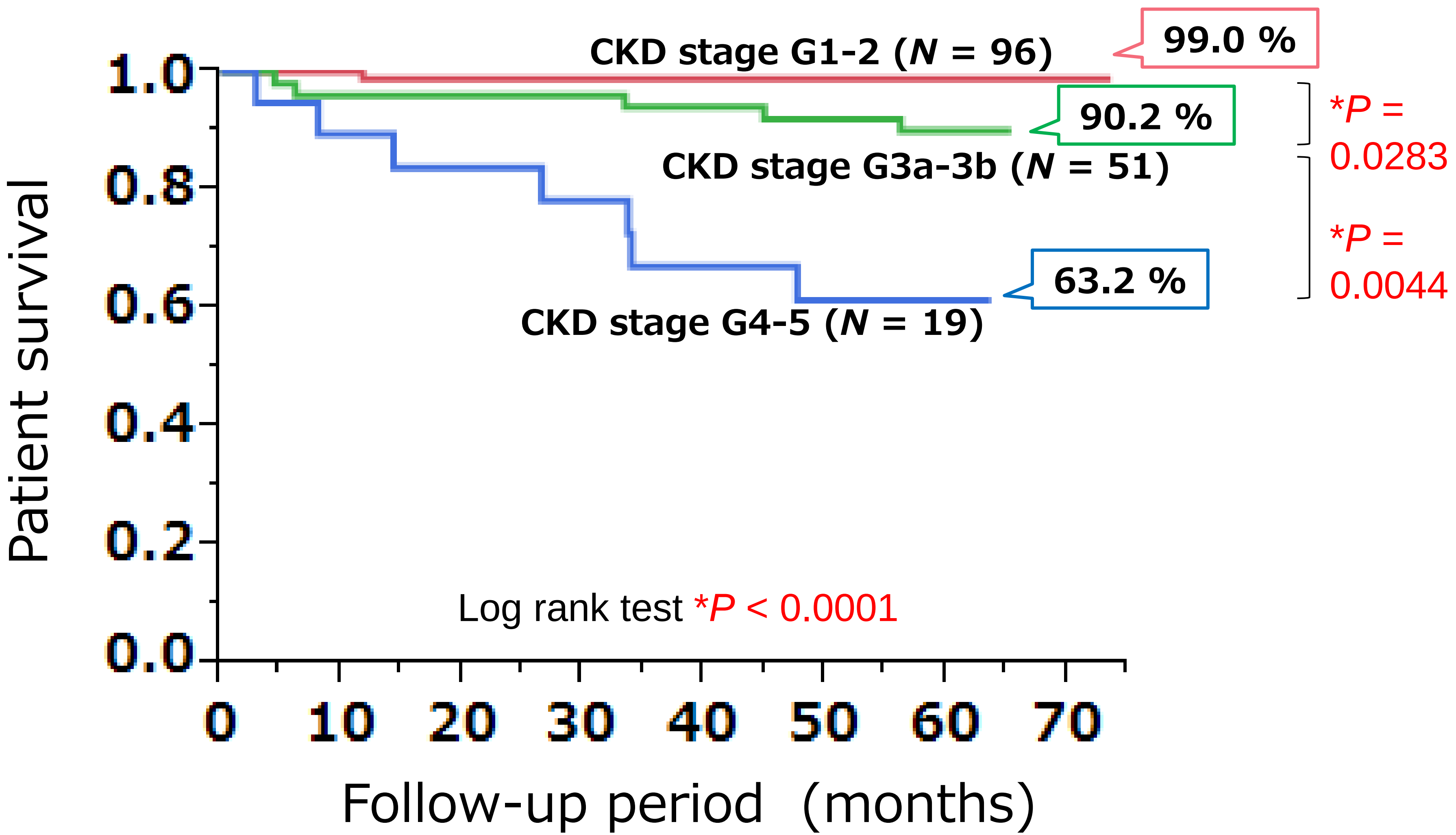




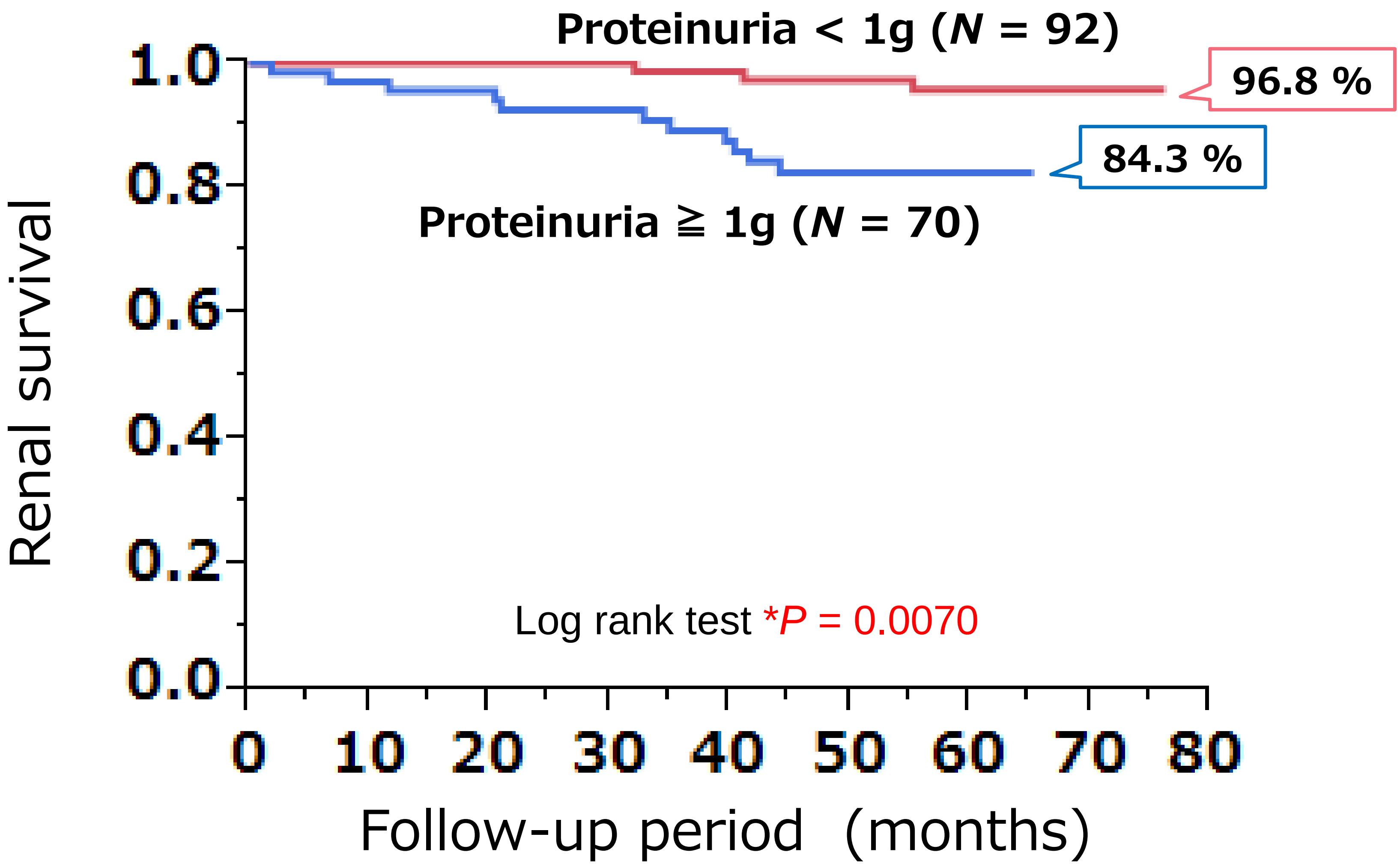
Renal Survival and CKD stage



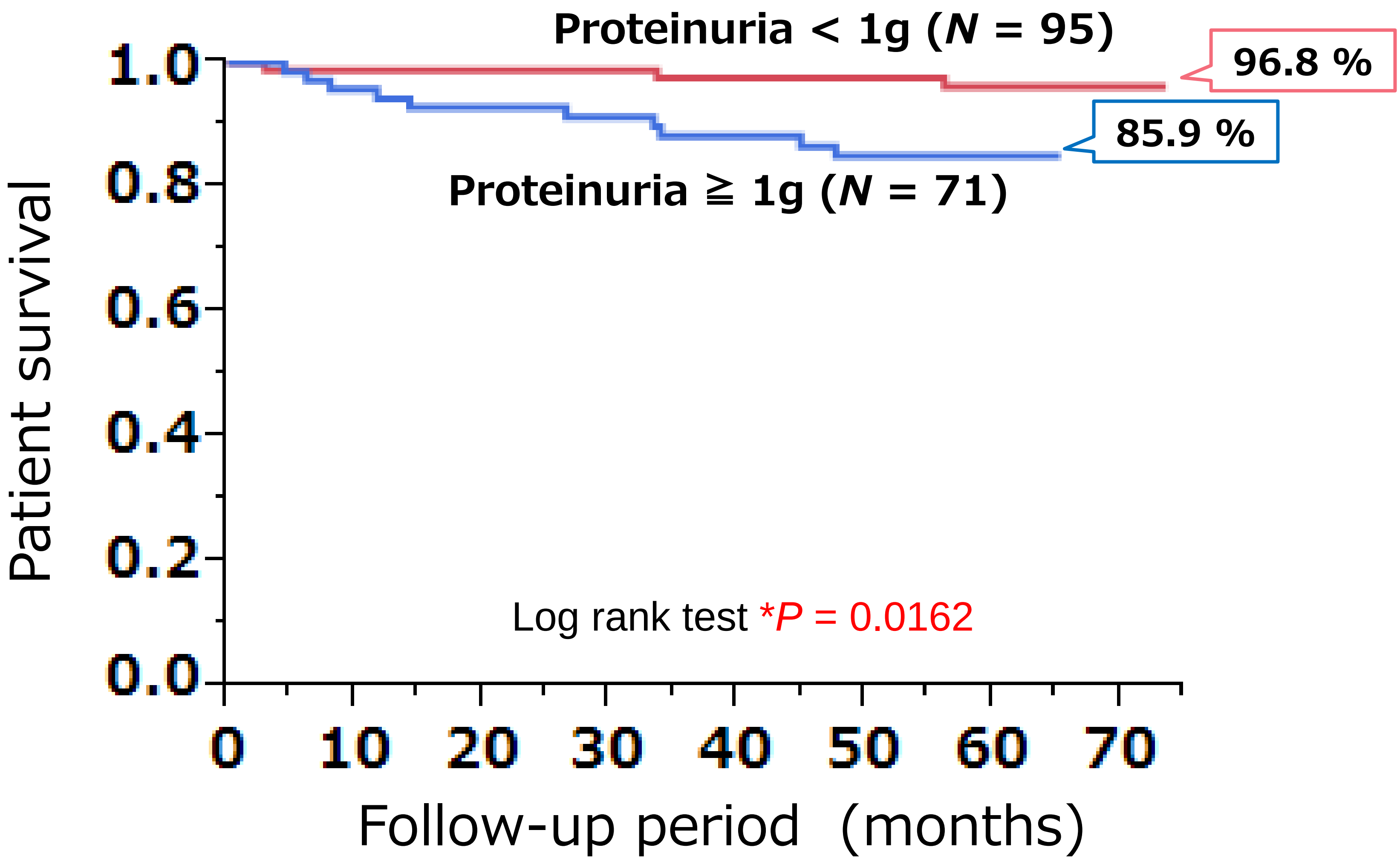
Patient Survival and CKD stage



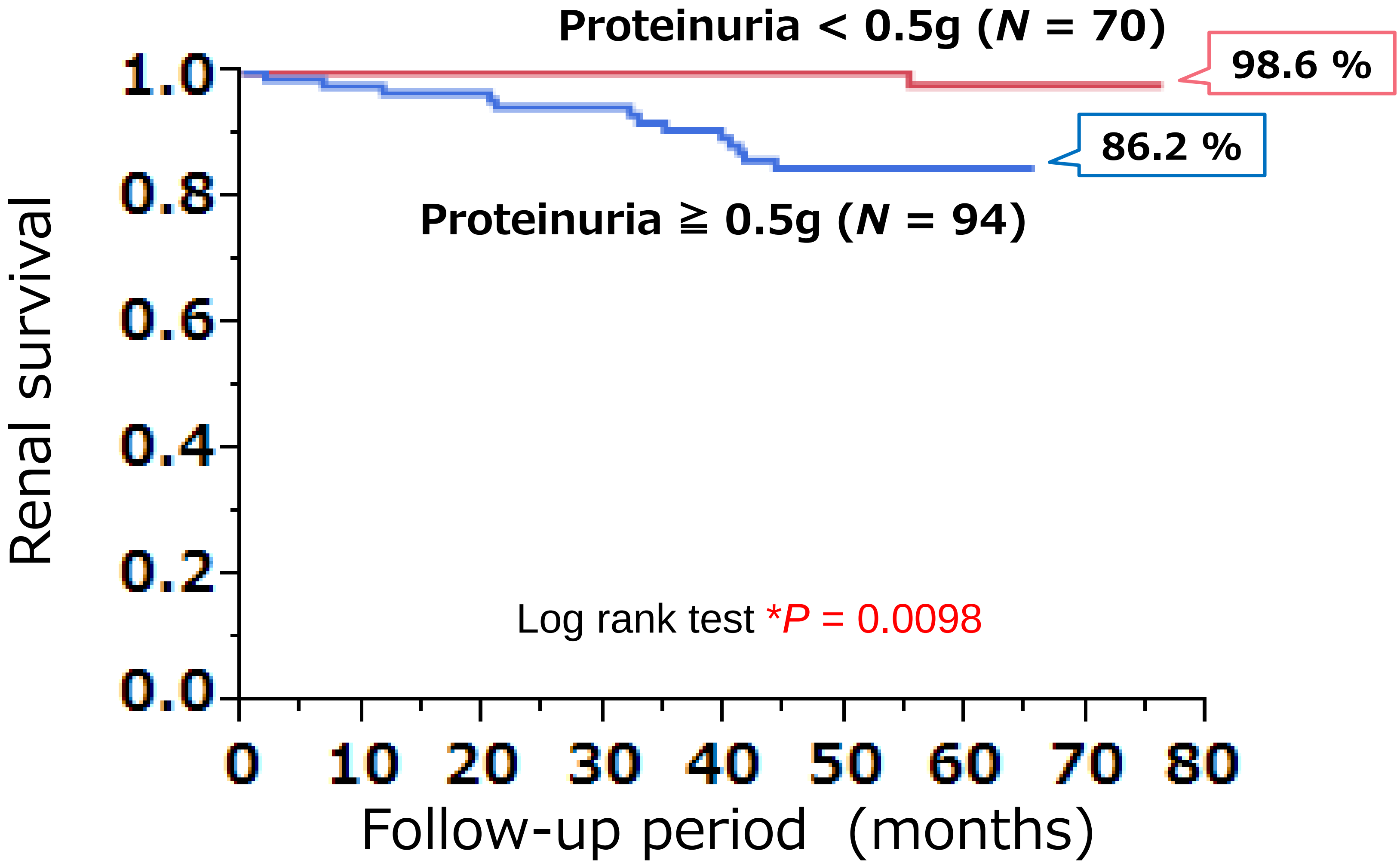
Renal Survival and Proteinuria Level



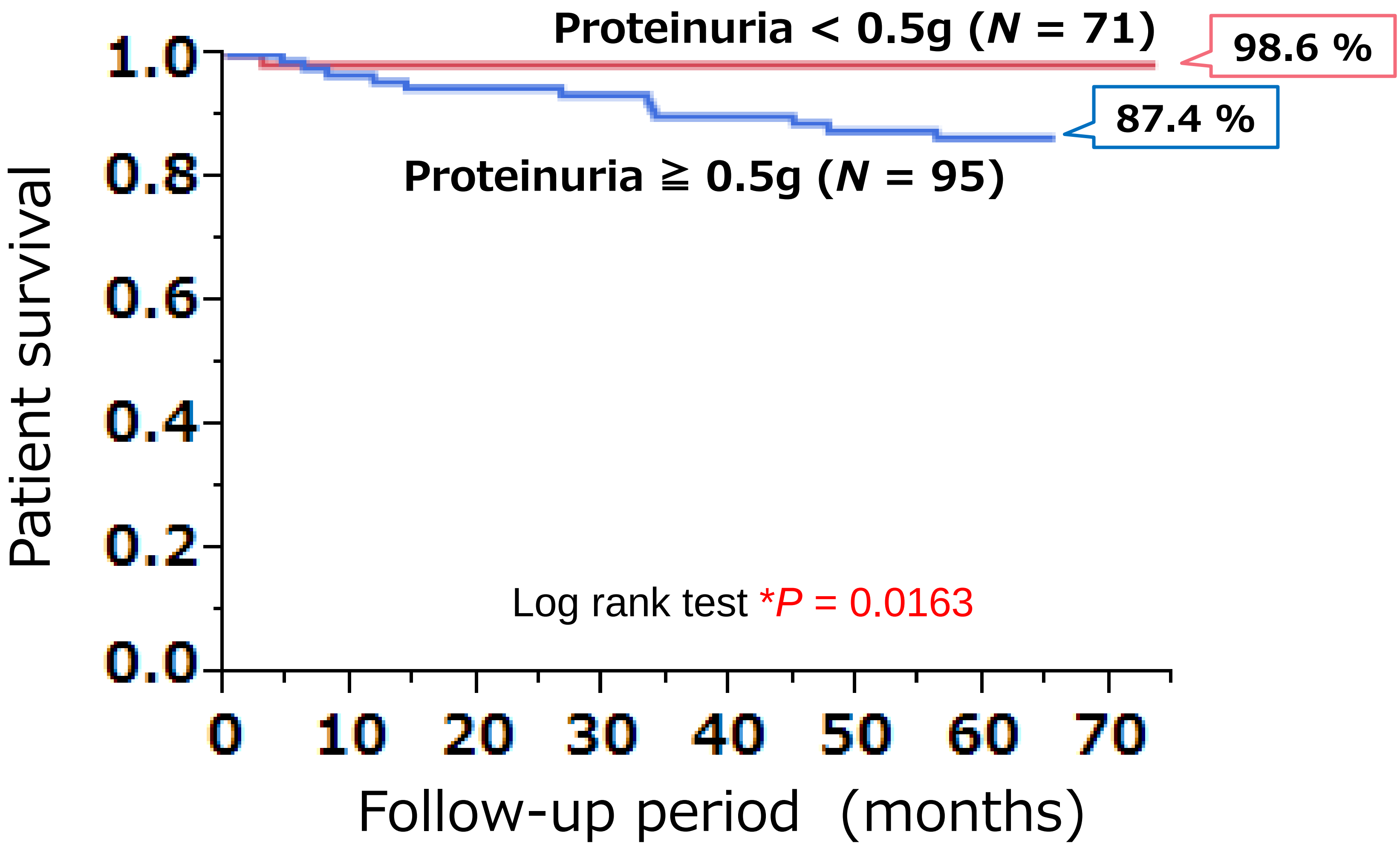
Patient Survival and Proteinuria Level



Renal Survival and Proteinuria Level



Patient Survival and Proteinuria Level



Risk for Reaching Renal End Point

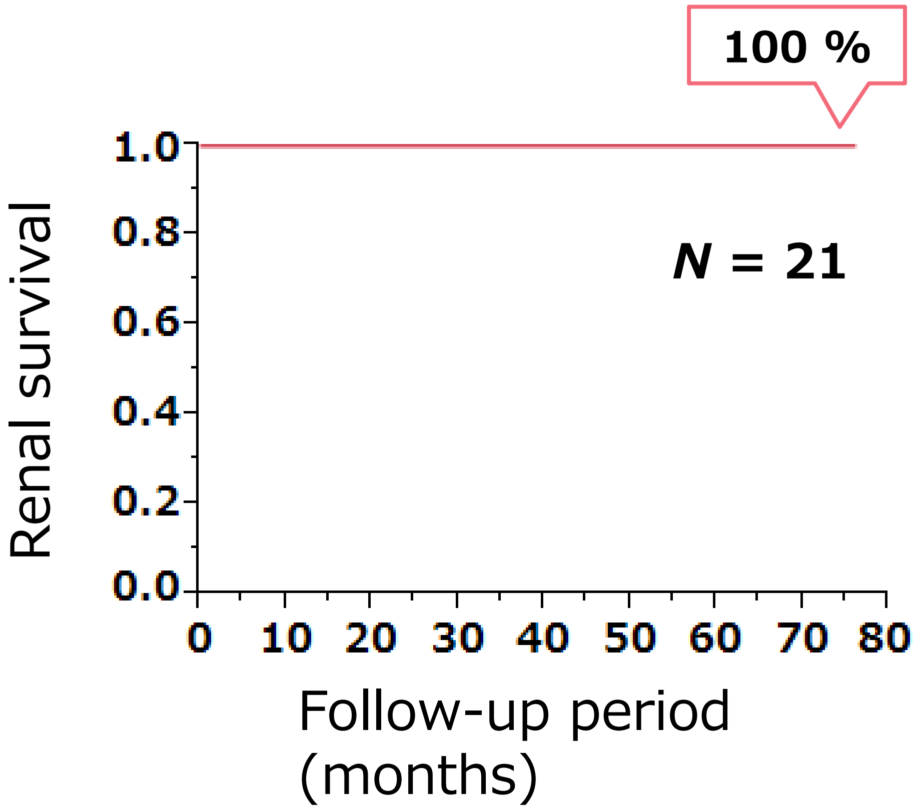
	Hazard Ratio	95% Confidence Interval		*P* value
Age (per 10-year increase)	1.21	0.84 -	1.89	0.3228
Gender (Male vs Female)	1.26	0.43 -	3.70	0.6701
eGFR (per 10-ml/min/1.72m^2 increase)	0.67	0.49 -	0.89	0.0047*
Proteinuria (≧0.5 g/day or g/gCr vs <0.5 g/day or g/gCr)	7.15	1.36 -	131.73	0.0164*

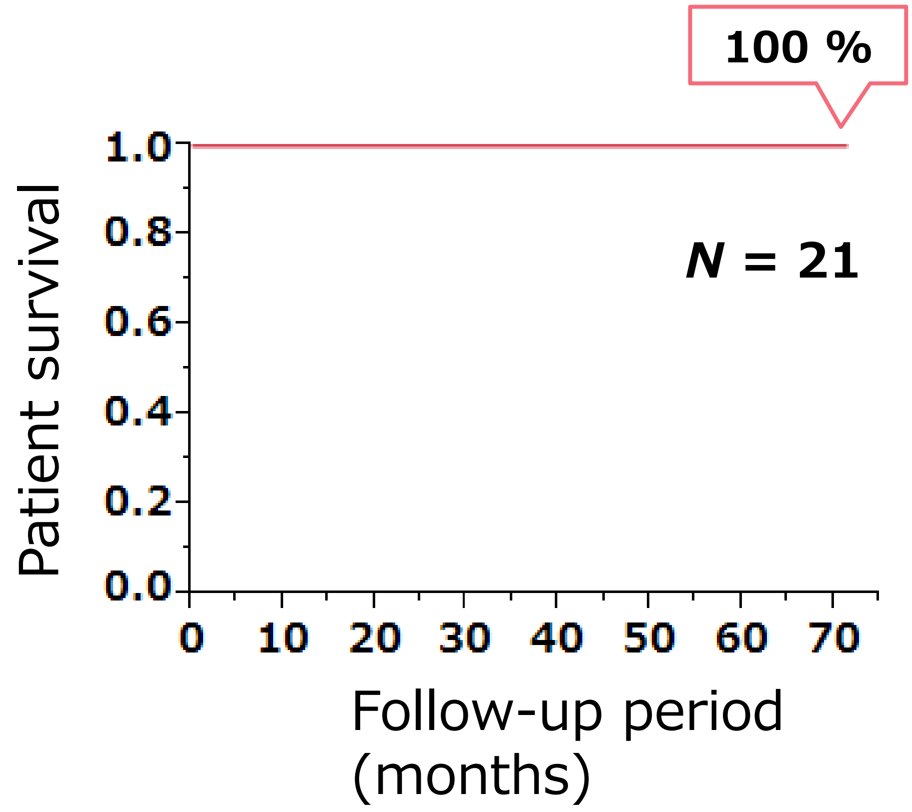
Renal end points: Doubling of creatinine or ESRD.

Risk for Mortality

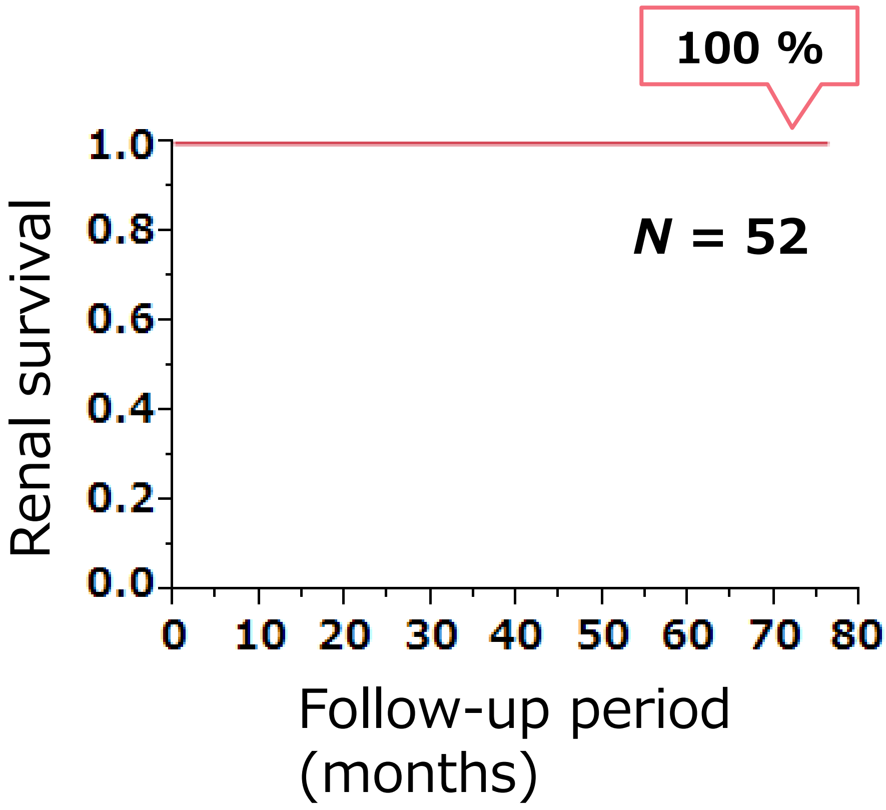
	Hazard Ratio	95% Confidence Interval		*P* value
Age (per 10-year increase)	2.64	1.34 -	6.78	0.0017*
Gender (Male vs Female)	2.00	0.60 -	9.08	0.2700
eGFR (per 10-ml/min/1.72m^2 increase)	0.76	0.54 -	1.04	0.0877
Proteinuria (≧0.5 g/day or g/gCr vs <0.5 g/day or g/gCr)	5.07	0.89 -	96.06	0.0700

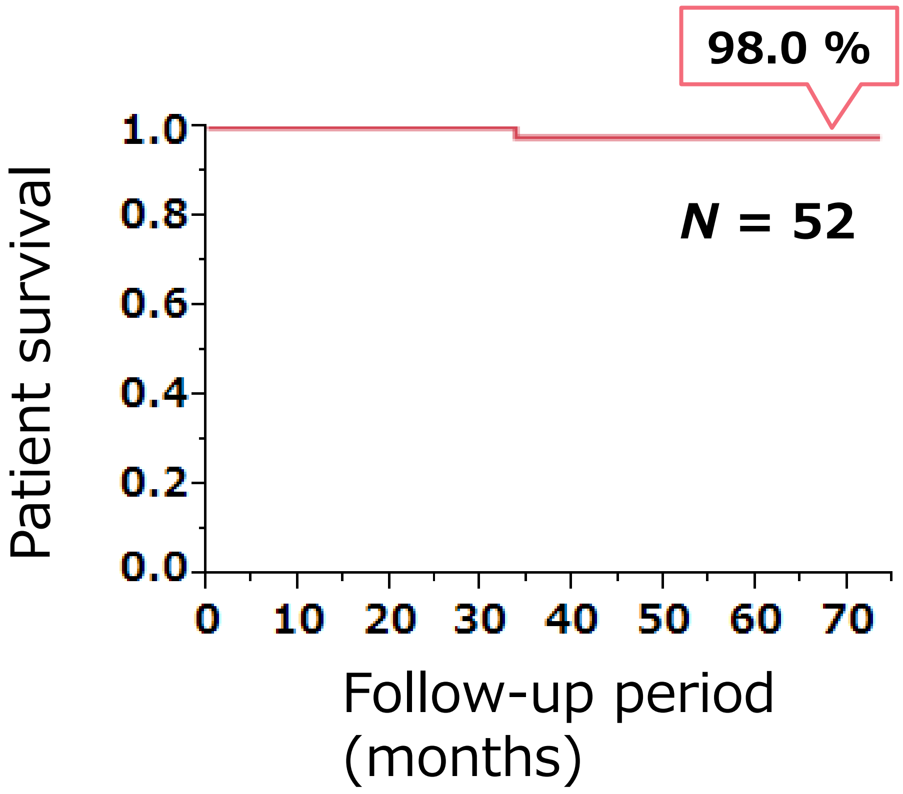
Renal/Patient Survival (Asymptomatic Hematuria)



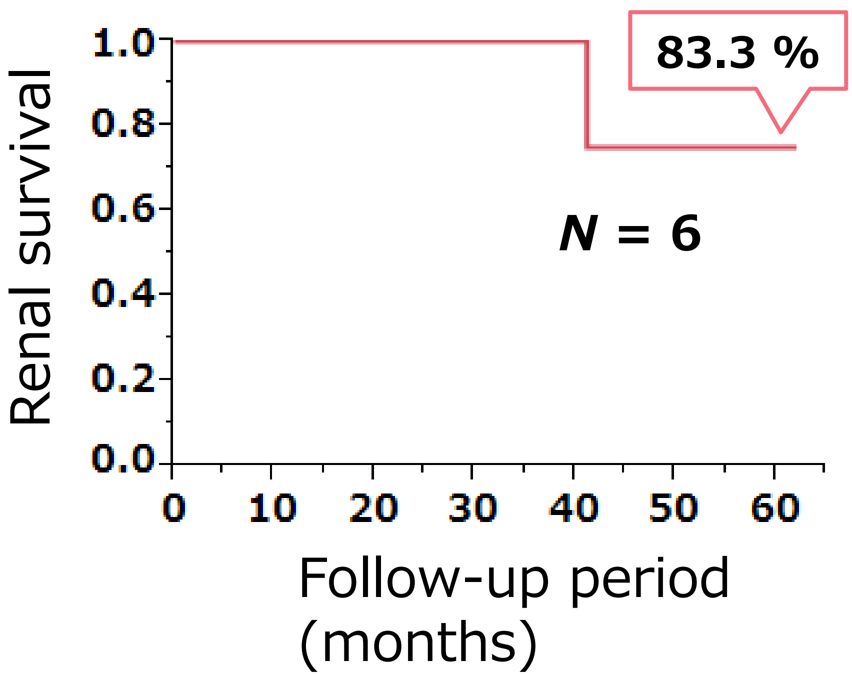


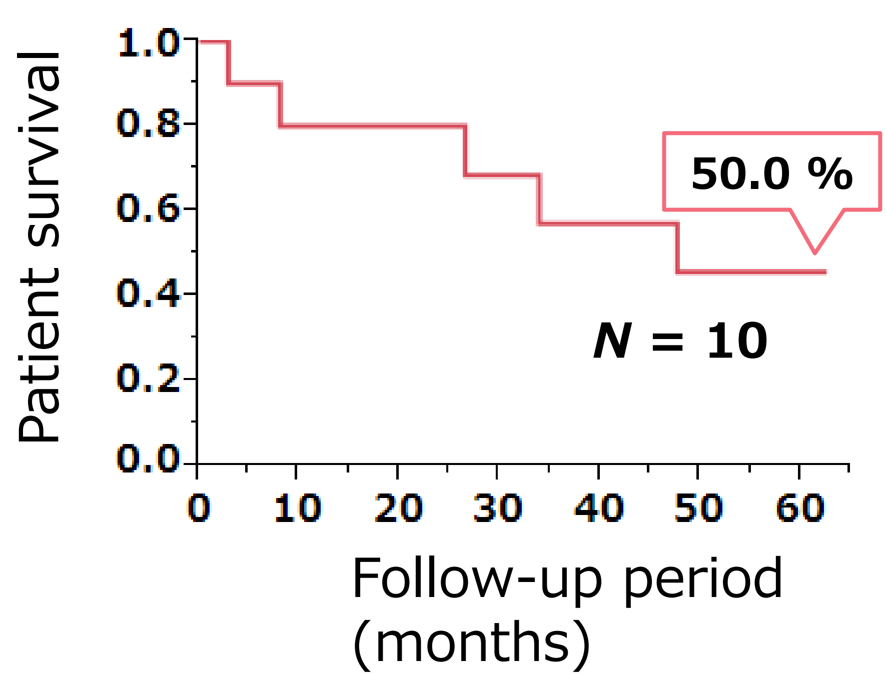
Renal/Patient Survival (IgA Nephropathy)





Renal/Patient Survival (Rapidly Progressive Nephritic Syndrome)





Acknowledgement

- 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
  腎・免疫・内分泌代謝内科学

大西章史、森永裕士、秋山愛由、田中景子、
山成俊夫、北川正史、菊本陽子、井上達之、
喜多村真治、前島洋平、和田　淳、槇野博史

- 同門関連施設の先生方

腎臓病総合レジストリーに関するデータ管理および利用規定、細則、遵守事項

http://www.jsn.or.jp/member/registry/kitei.php

1. 「日本における腎臓病総合レジストリー」に関する管理および利用規定 [PDF 97KB]
2. 「日本における腎臓病総合レジストリー」に関するデータ利用と二次研究に関する細則 [PDF 115KB]
3. 「日本における腎臓病総合レジストリー」に関するデータ利用と二次研究に関する遵守事項 [PDF 106KB]
4. 「日本における腎臓病総合レジストリー」利用申請書 [word 31KB]
5. 「腎臓病総合レジストリー」データ利用申請許可書 [word 46KB]

二次研究

2009年～

- JNSCS : 日本ネフローゼ症候群コホート研究
- J-IDCS : 日本透析導入患者コホート研究
- J-IGACS : IgA腎症の腎病理所見とその予後の関連に関する前向き多施設共同研究
- J-RPGNCS : 急速進行性糸球体腎炎レジストリーの作成、発症率、再発率、副作用および予後に関する観察研究
- J-DNCS : 糖尿病性腎症例を対象とした予後、合併症、治療に関する観察研究
- J-PKD : 多発性嚢胞腎患者全国登録による多施設共同研究

＊研究代表者にアクセス権の付与

公募研究

2011年

- 高齢者ネフローゼ症候群の解析
  横山　仁（J-KDR201001）（Yokoyama H et al. Clin Exp Nephrol 2012）
- 原発性糸球体腎炎の尿蛋白量に及ぼす肥満の影響に関する研究
  米倉由利子、後藤俊介、西　慎一（J-RBR201001）（CEN, in press）

2012年

- J-RBR/J-KDR登録RPGN症例の臨床データ、病理組織診断の解析
  杉山　斉（J-KDR201101）
- J-RBR/J-KDRの糖尿病性腎症関連登録例とJDN-CS登録例の比較検討
  和田隆志（J-KDR201102）（Furuichi K et al. Clin Exp Nephrol 2013）

2013年

- J-RBR を利用したわが国のループス腎炎の腎生検時における臨床像、組織所見の検討　廣村桂樹（J-RBR201201）
- J-RBRデータ解析によるIgA腎症と紫斑病性腎症の診断時臨床像の比較
  小松弘幸（J-RBR201202）

2014年　委員会、参加施設に公募

腎臓病総合レジストリーの公募研究に関する規定

http://www.jsn.or.jp/member/registry/post-2.php

腎疾患レジストリー腎病理診断標準化委員会

1. 本規定は、日本腎臓学会「日本における腎臓病総合レジストリーに関するデータ管理および利用規定」、「データ利用と二次研究に関する細則」、「データ利用と二次研究に関する遵守事項」（2009年11月30日理事会承認、2010年7月30日腎臓学会ホームページ掲載）に則り運用される。
   注：上記利用規定により、腎疾患レジストリー腎病理診断標準化委員会を登録委員会と称する。
2. 腎臓病総合レジストリーJ-KDRの公募研究は、腎臓病総合レジストリー公募研究（Research of J-KDR in JSN）、J-RBRを利用した公募研究は、腎生検レジストリー公募研究（Research of J-RBR in JSN）と称する。
   注：J-KDR, Japan Kidney Disease Registry; J-RBR, Japan Renal Biopsy Registry; JSN, Japanese Society of Nephrology
3. 申請は「日本における腎臓病総合レジストリー」利用申請書（2009年11月30日理事会承認、2010年7月30日腎臓学会ホームページ掲載）を用いて行う。
4. 年度毎に腎臓学会ホームページで公募を行う。応募期間は前年データについて、その年の学術総会終了後より1ヶ月間を目安とする。
   例）2010年データベース：2011年6月18日～7月17日
5. 応募資格について、申請者は登録の実績を有する施設に所属し、「データ利用と二次研究に関する細則」および「データ利用と二次研究に関する遵守事項」を遵守できる申請者とその共同研究者に限られる。
6. 公募件数は年間5件までとする。内容が重複する研究については登録委員会委員長が取りまとめ、できるだけ統一した研究に一本化して審査担当の臨床研究推進小委員会に諮る。

腎臓病総合レジストリーの公募研究に関する規定
http://www.jsn.or.jp/member/registry/post-2.php
腎疾患レジストリー腎病理診断標準化委員会

7. 登録委員会委員長は、承認された公募研究に対し1研究あたり2名の登録委員会担当委員を指名する。研究内容により臨床系2名、または病理系2名、またはそれぞれ1名の委員が担当する。担当委員は公募研究者と共同で研究を行い公募研究の進捗状況について委員会で報告を行う。
8. 承認された研究には、J-KDR201001～J-KDR201005、J-RBR201001～J-RBR201005の研究番号が付与される。学会、論文発表の際にはこの研究番号と、腎臓病総合レジストリー公募研究（Research of Japan Kidney Disease Registry in Japanese Society of Nephrology）、腎生検レジストリー公募研究（Research of Japan Renal Biopsy Registry in Japanese Society of Nephrology）の名称を記載する。
9. 公募研究の研究成果は翌年の腎臓学会学術総会（委員会企画または一般演題）で発表を行う。
   例）2010年データベースの公募研究→2012年　学術総会
10. 論文発表は英文を基本とし、CEN（Clinical and Experimental Nephrology）または国際英文誌に発表する。
11. Authorshipに関して、学会、論文発表の際、共著者として担当委員（2名）、登録委員会委員長を原則として含める。
12. 学会発表後には抄録を、論文発表の際は別刷を各1部、腎臓学会事務局に速やかに提出する。

付則 この規定は、平成23年2月1日より施行する。
　　規定の変更は，平成24年8月26日より施行する。

腎臓病総合レジストリー レポート一覧

- 腎臓病総合レジストリー J-RBR/J-KDR 活動内容について [PDF 535KB]
  杉山 斉、佐藤 博、上田 善彦、横山 仁 2013年5月11日（土）
  第56回日本腎臓学会学術総会 第1回広報委員会キーパーソン会議

- CENに掲載されたJ-RBR/J-KDRレポート論文
  Sugiyama H, et al. Clin Exp Nephrol. 2013 Apr;17(2):155-73.
  →**ダウンロードはこちら** [PDF 252KB]
  Yokoyama H, et al. Clin Exp Nephrol. 2012 Dec;16(6):903-20.
  →**（会員専用）ダウンロードはこちら** [PDF 354KB]
  Yokoyama H, et al. Clin Exp Nephrol. 2012 Aug;16(4):557-63.
  →**（会員専用）ダウンロードはこちら** [PDF 450KB]
  Sugiyama H, et al. Clin Exp Nephrol. 2011 Aug;15(4):493-503.
  →**ダウンロードはこちら** [PDF 266KB]

腎臓病患者のインターネット症例登録システム
腎臓病総合レジストリー(J-KDR)
腎生検レジストリー（J-RBR）

連続コホート調査

登録データ解析
（一次研究）

腎臓病に関する多施設前向きコホート研究
（二次研究）

診療実態と患者アウトカムに関するエビデンスを発信

日本腎臓学会
J-RBR/J-KDR 関連委員会

腎疾患レジストリー・腎病理診断標準化委員会

横山　仁、長田道夫、上田善彦、佐藤　博、北村博司、清水　章、杉山　斉
西　慎一、香美祥二、服部元史、吉川徳茂、（疫学アドバイザー）清原　裕
（顧問）松尾清一、槇野博史、田口　尚
（オブザーバー）斉藤喬雄、和田　隆志、安田宜成、今田恒夫

腎生検データベース構築病理WG

長田道夫、上田善彦、北村博司、清水　章、江原孝史、岡　一雅、大橋健一
金鋼友木子、串田吉生、倉持　茂、小池淳樹、立野正敏、橋口明典、原　重雄
久野　敏、深澤雄一郎、松岡健太郎、（顧問）田口　尚、（オブザーバー）横山　仁

腎疾患データベース地域・領域中核WG

佐藤　博、香美祥二、杉山　斉、西　慎一、服部元史、横山　仁、吉川徳茂
猪阪善隆、石村栄治、伊藤孝史、上村　治、内田俊也、上條祐司、河田哲也
川端雅彦、川村哲也、黒木亜紀、佐々木　環、笹冨佳江、佐藤寿伸、武田朝美
鶴屋和彦、寺田典生、中川直樹、中屋来哉、成田一衛、幡谷浩史、廣村桂樹
藤元昭一、古市賢吾、丸山彰一、武曾恵理、湯澤由紀夫、
（オブザーバー）清元秀泰、江田幸政

次世代レジストリー検討WG

上田善彦、横山　仁、石山勝也、佐藤　博、杉山　斉、坂井　薫、原　重雄、森永裕士、
山本陵平

2013 J-RBR/J-KDR

参加施設 -1-

J-RBR | J-KDR | CRF/CKD | DM

- 愛知医科大学
- あいち小児保健医療総合センター
- 旭川医科大学
- 足利赤十字病院
- 市立池田病院
- 岩手県立中央病院
- 大分県厚生連鶴見病院
- 大分赤十字病院腎臓内科
- 国立病院機構大阪医療センター
- 大阪市立総合医療センター
- 大阪市立大学第二内科
- 大阪赤十字病院
- 大阪大学
- 大阪府立急性期･総合医療センター
- 大阪府立母子保健総合医療センター
- 岡山済生会総合病院
- 岡山大学
- 杉田玄白記念公立小浜病院
- 香川大学
- 加登病院
- 金沢医科大学腎臓内科
- 金沢医科大学糖尿病内分泌内科
- 金沢医療センター
- 金沢大学
- 川口市立医療センター
- 川崎医科大学
- 田附興風会医学研究所北野病院
- 九州大学
- 京都医療センター
- 京都大学
- 京都大学内分泌代謝内科
- 京都府立医科大学腎臓内科
- 杏林大学第一内科
- 杏林大学泌尿器科
- 熊本大学
- 倉敷中央病院
- 久留米大学
- 群馬大学
- 高知大学
- 高知大学医学部小児思春期医学
- 神戸大学
- 神戸大学小児科学分野
- JCHO神戸中央病院
- 高陵クリニック
- 国立循環器病センター内科高血圧腎臓部門
- 埼玉医科大学腎臓内科
- 埼玉医科大学総合医療センター
- 佐賀大学
- 札幌医科大学
- KKR札幌医療センター
- 市立札幌病院
- 産業医科大学腎センター
- 滋賀医科大学内科学講座
- 済生会滋賀県病院
- 静岡県立総合病院
- 自治医科大学腎臓内科
- 自治医科大学附属さいたま医療センター
- 島根大学
- 順天堂大学
- 昭和大学
- 昭和大学藤が丘病院腎臓内科
- 仁真会白鷺病院
- 信州大学
- 雪の聖母会聖マリア病院
- 聖マリアンナ医科大学
- 仙台社会保険病院
- 国立病院機構千葉東病院
- 国立病院機構千葉東病院泌尿器科
- 中濃厚生病院

（50音順 / 平成26年6月2日現在　137施設）

参加施設 -2-

J-RBR | J-KDR | CRF/CKD | DM

- 筑波大学
- 帝京大学内科
- 帝京大学泌尿器科
- 東海大学腎内分泌代謝内科
- 東京医科大学茨城医療センター
- 東京慈恵会医科大学
- 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
- 東京慈恵会医科大学附属柏病院
- 東京慈恵会医科大学附属病院(本院)
- 東京女子医科大学腎臓小児科
- 東京女子医科大学第四内科
- 東京大学血液浄化療法部
- 東京大学小児科
- 東京大学腎臓内分泌内科
- 東京都立小児総合医療センター
- 東北大学
- 徳島大学小児科
- 徳島大学腎臓内科
- 獨協医科大学
- 獨協医科大学越谷病院
- 鳥取大学周産期・小児医学
- 富山県立中央病院
- 富山市立富山市民病院
- 富山大学第二内科
- 豊中市立豊中病院
- 虎の門病院分院腎センター
- 長崎大学
- 長崎大学医学部第二内科
- 名古屋共立病院
- 名古屋市立大学
- 名古屋大学
- 名古屋第二赤十字病院
- 奈良県立医科大学
- 新潟大学
- 日本医科大学腎臓内科
- 日本大学腎臓高血圧内分泌内科
- 浜松医科大学
- 原口内科・腎クリニック
- 広島大学
- 福井大学腎臓病態内科学
- 福岡赤十字病院
- 福岡赤十字病院小児科
- 福岡大学
- 福岡東医療センター
- 福島県立医科大学
- 藤田保健衛生大学腎内科
- 富士宮市立病院
- 北海道医療センター
- 北海道大学
- 北海道大学小児科
- 医療法人健仁会益子病院
- 公立松任石川中央病院
- 三重大学
- 総合病院水島協同病院
- 水戸済生会総合病院
- 宮崎大学
- 県立宮崎病院
- もりやま越野病院
- 山形大学小児科
- 山形大学第一内科
- 済生会山口総合病院
- 山梨大学糖尿病・内分泌・腎臓内科
- 横浜市立大学病態制御内科学
- 横浜市立大学附属市民総合医療センター
- 四日市社会保険病院
- 琉球大学
- 和歌山県立医科大学小児科
- 和歌山県立医科大学腎臓内科・血液浄化センター

(50音順 / 平成26年6月2日現在　137施設)

J-RBR/J-KDR今後の課題と展望

- 一次予後追跡調査（長期データ収集、予後）
- 二次研究の解析と治療・予後データの発表
- 公募研究の促進によるデータ活用
- 診断の統一化、登録項目の見直し
- 登録システムの効率化・電子カルテ対応（CDISC標準）：次世代レジストリーシステム
- バーチャルスライド、生体試料（血清、尿、遺伝子情報）の登録
- 稀少疾患のレジストリー、全国調査